

厚生労働科学研究費補助金（医療技術実用化総合研究事業）  
（分担）研究報告書

症候性脳放射線壊死に対する核医学的診断とベバシズマブの静脈内投与による治療  
研究分担者 広島大学病院 がん化学療法科 教授 杉山 一彦

研究要旨

脳腫瘍患者に対する放射線治療後に生じた症候性脳放射線壊死に対して抗 VEGF 抗体であるベバシズマブの投与を行い、その有効性と安全性を検証する多施設間共同研究に参加した。

A．研究目的

脳腫瘍放射線治療後に生じた症候性脳放射線壊死の治療におけるベバシズマブの臨床効果を検証する。

B．研究方法

大阪医大を中心とする多施設間共同研究体制に入り、策定されたプロトコルに乗っ取り、同意を得た患者にベバシズマブによる治療を施行し、患者のフォローアップを行う。

（倫理面への配慮）

臨床研究プロトコルは広島大学病院の倫理委員会によって審議され承認済みである。患者には十分な説明を行い、同意を書面で得た後に研究参加していただく。

C．研究結果

平成25年1月に58歳男性例の治験薬の投与が終了した。その後、平成25年度には同患者の追跡を行った。神経症状の改善は乏しかったものの、腫瘍造影効果の低下、周辺T2高信号域の縮小が観察された。同年秋より嚢胞成分の増大が徐々に観察されはじめ、右片麻痺の増悪、進行を認めたために、現在外科的介入を検討している。

新規登録例、候補はなかった。

D．考察

本研究プロトコルに従って、慎重な経過観察をしていく。

E．結論

プロトコルを順守し、登録症例の追跡に協力していく。

F．健康危険情報

総括研究報告書参照

G．研究発表

1. 論文発表

- 1) Sato I, Mukasa A, Sugiyama K, Saito N, Kumabe T, et al. Cancer-specific health-related quality of life in children with brain tumors. Qual Life Res. 2013 Oct 17. [Epub ahead of print]
- 2) Aoki T, Sugiyama K, Nonoguchi N, Kawabata N, et al. A Multicenter Phase I/II Study of the BCNU Implant (Gliadel Wafer) for Japanese Patients with Malignant Gliomas. Neurol Med Chir (Tokyo). 2013 Nov 29. [Epub ahead of print]
- 3) Kagawa K, Sugiyama K, et al. Electrographic-histopathologic correlations implying epileptogenicity of dysembryoplastic neuroepithelial tumor. Neurol Med Chir (Tokyo). 53:676-687, 2013.
- 4) Sato I, Mukasa A, Sugiyama K, Saito N, Kumabe T, et al. Factors influencing self- and parent-reporting health-related quality of life in children with brain tumors. Qual Life Res. 22:185-201, 2013.
- 5) Kinoshita Y, Sugiyama K, et al. Postoperative fever specific to neuroendoscopic procedures. Neurosurg Rev. 2013 Nov 14. [Epub ahead of print]

6) Kinoshita Y, Sugiyama K, et al. The arginine and GHRP-2 tests as alternatives to the insulin tolerance test for the diagnosis of adult GH deficiency in Japanese patients: a comparison. Endocr J. 60:97-105, 2013.

2. 学会発表

(国内学会)

- 1) 杉山一彦：carmustine wafer (ギリアデル) 本邦における適正使用：第33回日本脳神経外科コンgres:2013年5月11日：大阪国際会議場(大阪府)
- 2) 杉山一彦：再発膠芽腫に対する bevacizumab 単剤投与長期生存者の検討：第31回日本脳腫瘍学会：2013年12月8日：宮崎シーガイア(宮崎県)
- 3) 杉山一彦：脳腫瘍診療ガイドラインの紹介：第31回日本脳腫瘍学会：2013年12月10日：宮崎シーガイア(宮崎県)

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

特記事項なし